

吉見 宏 メモリアル 札幌都心交通再考フォーラム

日時: **2023年10月15日(日)**
 会場: 北海学園大学豊平キャンパス
 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
 ★地下鉄東豊線「学園前」直結
 主催: 札幌LRTの会
 後援: 北海道大学大学院経済学研究院
 : 北海道大学大学院経済学研究院
 地域経済経営ネットワークセンター
 : 北海学園大学



水彩色鉛筆画: 鈴木 周作

線路のある街 = 出会いの街

パネルディスカッション 12:30開場 13:00~16:30 会場: 7号館 D20

参加費 一般:500円 学生:100円

パネリスト



中尾 正俊 宇都宮ライトレール株式会社 常務取締役 / 広島大学 大学院 社会科学部 博士課程修了 / 京都大学大学院 工学研究科 「上級都市交通政策技術者」養成コース終了 / 公益財団法人 鉄道技術研究所 レールアドバイザー / 元広島電鉄株式会社 常務取締役 電車カンパニープレジデント / 元 全国路面軌道連絡協議会 専務理事



宇都宮 浄人 関西大学 経済学部教授 兵庫県生まれ。日本銀行勤務を経て2011年から現職 / 2000年代半ばから、「人と環境にやさしい交通をめざす交通をめざす協議会」に参画し、地域公共交通活性化再生法や交通政策基本法の成立に向け活動 / 北大地域経済経営ネットワーク研究センターの2019年度シンポジウムでも講演 / 著書に『地域公共交通の統合的政策』(東洋経済新報社)など。



荒川 尚次 市電を守り再配置をすすめるプロジェクト代表 / 1962年 札幌市職員になる / 1975年より2003年まで通算6期 札幌市議会議員歴任 / 市議時代には、歴代の市長に対し札幌市電の再配置問題に関する質問をおこない、坂垣市長より「市電存続」、桂市長より「再配置の検討」の答弁を得た。議員辞職後現在のプロジェクトを立ち上げ、土田市長の「市電存続表明」につなげた。



松村 耕一 (株)マリア手芸店 代表取締役会長、1951年札幌生まれ。1975年 東京造形大学インダストリアルデザイン学科卒業後、大正15年創業の家業マリア手芸店の3代目後継者となる。変貌する札幌を時計台の傍でずっと眺めてきた。愛される札幌、暮らしに夢をもてるデザインは、私たち団塊世代の責任だ。中央地区町内会連合会副会長 / 札幌駅前通振興会副会長、札幌LRTの会副会長

コーディネーター 申し込みは下のQRコードから ↓



浅妻 裕 北海学園大学経済学部教授 石川県生まれ。一橋大学大学院経済学研究科を経て2002年より北海学園大学勤務。専門は環境経済学・経済地理学・静脈産業論。交通分野に関しては、地理学的手法を用いながら、軌道系交通と、都市の経済・社会との関係について研究を行っている。著書・論文に『国際リユースとグローバル市場』(成山堂)、『GISを用いた路面電車ループ化効果の可視化』(第55回土木計画学研究発表会・講演集)など

市電貸切「LRT号」運行中

すすきの→電車事業所→すすきの 無料(申込順22名)
 日時 「テーマ」案内役は札幌LRTの会員等

- ① 8/20(日)11:30発「市電の歴史 車面の話」早川淳一・和田哲
- ② 9/10(日)13:00発「市電沿線 山鼻の話」永喜多宗雄
- ③ 10/8(日)13:00発「さっぽろの景色変遷の話」吉村政昭
- ④ 10/15(日)09:30発「フォーラム当日参加者用試乗車」
- ⑤ 11/19(日)13:00発「市電延伸の話」荒川尚次・松村耕一
- ⑥ 12/24(日)15:00発「子ども対象 クリスマス電車」

協賛・意見広告募集中

10/15当日配布のプログラムに掲載します。8/31〆切
 A4版(タテ)カラー完全版下入稿 1ページ料金税込5,000円
 ※手書きもそのまま印刷です。掲載の可否は主催者が判断いたします。

フォーラム懇親会

10/15(日) 18:30~20:30
 会場: 狸小路2丁目 ライオン 会費: 5,000円(要申込)

参加申し込みはこちらのQRコードから

札幌LRTの会 →

メールアドレス: ikazuo@rose.ocn.ne.jp

